

人吉市に物資  
合同チーム出発

総社、赤磐市

AMD A医師ら

熊本県南部の記録的豪雨を受け、総社、赤磐市、国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市）は6日、飲料水や食料などの物資を届ける合同支援チームを結成し、甚大な被害に遭った同県人吉市に向かった。

チームは総社市職員

2人と赤磐市職員1

人、AMD Aの医師ら

3人の計6人。飲料水（5000ミリリットル入り）1200本、レトルトカレー510食、土のう袋2千枚、毛布500

枚などを支給する。

総社市役所で出発式があり、チームを代表し同市危機管理室の河田秀則室長が「2年前



人吉市に届ける支援物資をトラックに積み込む総社市職員ら

の（西日本豪雨の）災害支援に感謝し、恩返しのできる気持ちで全力で活動したい」と述べた。

物資は運

送会社が現

地に運ぶ。

職員らはそ

れぞれ新幹

線で九州入り。現地の天候をみながら、熊本市と連携して支援内容を検討する。

（古川和宏）